

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	区役所本庁舎等維持管理					款 02	項 01	目 05	事業 001	整理番号	020	
現担当課名	経理課					係名	庁舎管理係		連絡先	1533	昨年度 整理番号	021
上位施策No・施策名	09	質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成5年度	実行計画事業	分野	03	施策	09	計画事業	04	主要事業（区政經營報告書掲載事業）			
令和6年度 担当課名	経理課					事業評価区分	施設維持管理					

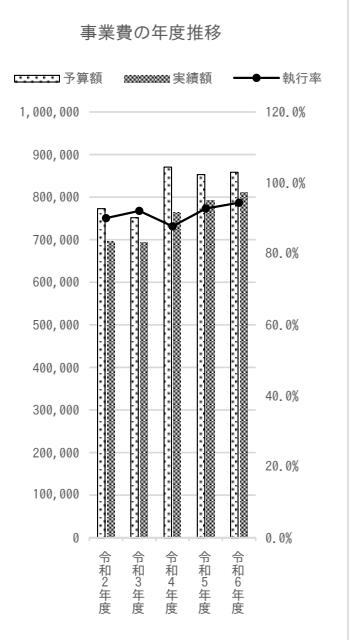
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 消防法 建築物における衛生的環境の確保に関する法律
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）  ○来庁者の利用環境と職員等の執務環境を良好に保ち、本庁舎等の機能維持及び時代に適合した設備更新により利便性を向上させる。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	計画						
	実績						
成果指標	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						

事業費	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	千円	予算額	772,858	751,680	870,501	852,866	858,336	959,243
		実績額	696,134	692,475	763,997	791,264	810,477	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	予算額	99,524	93,996	84,175	67,356	85,585	80,403
		実績額	94,183	98,933	87,884	70,350	90,013	-
	執行率	94.6%	105.3%	104.4%	104.4%	105.2%	-	
上記以外の職員	予算額	24,640	32,652	25,725	40,458	38,070	46,430	
	実績額	36,280	22,050	25,746	41,877	46,430	-	
	執行率	147.2%	67.5%	100.1%	103.5%	122.0%	-	
(事業費+人件費)	予算額	897,022	878,328	980,401	960,680	981,991	1,086,076	
	実績額	826,597	813,458	877,627	903,491	946,920	-	
	執行率	92.1%	92.6%	89.5%	94.0%	96.4%	-	
財源	受益者負担分 ①	予算額	0	0	0	0	0	0
	国・都からの 補助金 ②	予算額	8,954	0	0	0	0	0
	その他の 補助金等 ③	予算額	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	予算額	8,954	0	0	0	0	0	
	実績額	8,954	0	0	0	0	-	
	執行率	100.0%	-	-	-	-	-	
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	予算額	888,068	878,328	980,401	960,680	981,991	1,086,076	
	実績額	817,643	813,458	877,627	903,491	946,920	-	
	執行率	92.1%	92.6%	89.5%	94.0%	96.4%	-	



特記事項
------

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	生ごみの資源化に伴う可燃ごみの排出量の削減	503	t	31,002
	本庁舎で使用する電力に占める再生可能エネルギーの使用実績	1,582,451	kwh	4,805
	本庁舎の電力調達に伴う温室効果ガス排出量の削減	682	t	4,805
	その他（ 本庁舎保全・総合衛生管理業務ほか )			769,865

取組成果	本庁舎等における省エネ・環境対策として、コーポレート・リレーションシステムによる自家発電による電力供給量の削減や、照明の減光、空調温度の調整などの節電対策を引き続き実施するとともに、非化石証書を追加購入することで、本庁舎で調達する電力に占める再生可能エネルギーの割合を令和6年11月から100%とし、温室効果ガス排出量の削減を図りました。 また、区立施設から排出される生ごみの資源化を進め、可燃ごみの排出量の削減を図りました。
------	--

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	平成6年11月1日から本庁舎で使用する電力を再生可能エネルギー100%に切り替えるとともに、区立施設で排出する生ごみを分解しメタンガス化する資源化に取り組み、ごみの総排出量を削減しました。また、照明の減光、空調温度の調整などの節電対策を実施しました。
事業の方向性・改善策	本庁舎等は機器や設備が老朽化しており、必要最小限の改善を計画的に行います。その際、環境に配慮した施設への転換、ユニバーサルデザインへの対応等の課題にも対応していきます。こうした必要な維持管理を行いつつ、東棟は築60年を経過していることから、今後は本庁舎改築に向けた本格的な検討を進めていく必要があります。 本庁舎で使用する電力のうち電力会社からの購入分については、令和6年11月1日以降100%再生可能エネルギーへ切り替えました。また、職員数の増加等により本庁舎の執務室・会議室が慢性的に不足しているなか、賃貸借契約の期間満了により退去した会議室があることから、執務環境の改善を図り新たなスペースを生み出していくことを全庁的に取り組んでいくことや本庁舎周辺の民間会議室など新たな場所を確保する必要があります。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	本庁舎等の老朽化への対応、脱炭素の取組に伴い、コストが増大する見込みです。また、職員数の増加等により本庁舎周辺に執務室・会議室等を確保する必要があるため、民間ビル等の賃借により新たに賃借料を見込んでいます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	庁有車の管理						款 02	項 01	目 05	事業 002	整理番号	021		
現担当課名	経理課						係名	連絡先 電話番号			昨年度 整理番号	022		
上位施策No・施策名	09	質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進						予算事業区分			既定事業			
事業開始	昭和60年度	実行計画事業		分野 03	施策 09	計画事業 04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）							
令和6年度 担当課名	経理課						事業評価区分			内部管理				

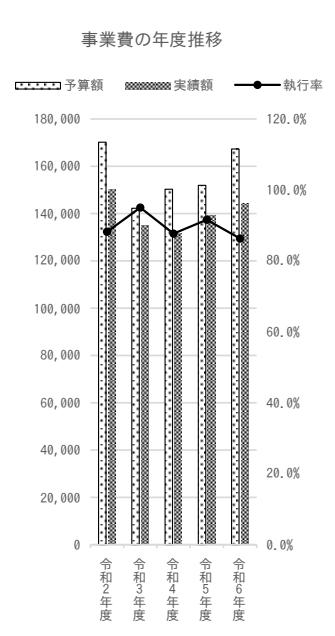
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 道路交通法 庁有車の管理等に関する規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○庁有車を円滑に使用できるよう管理する。 ○運転者の安全運転の自覚を高め、交通事故ゼロを目指す。  ○庁有車を集中管理し、車両の維持管理等を行う。 ○庁有車の事故処理及び運転登録に関する管理を行う。 ○職員に対する講習会を実施し、安全運転教育を行う。 ○大気汚染防止とガソリン使用量抑制のため、より環境性能の優れた低公害車・低燃費車を導入する。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	計画 実績 達成率	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
					-	-	-	-
					-	-	-	-
成果指標				計画 実績 達成率	-	-	-	-
					-	-	-	-
	分類				-	-	-	-
分類				計画 実績 達成率	-	-	-	-
					-	-	-	-
					-	-	-	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	事業費の年度推移		
								予算額	実績額	執行率
事業費	千円	予算額	170,172	142,244	150,287	151,936	167,309	154,271		
		実績額	150,089	135,162	131,774	139,159	144,384	-		
		執行率	88.2%	95.0%	87.7%	91.6%	86.3%	-		
人件費	千円	予算額	17,872	17,431	16,686	16,636	16,742	17,112		
		実績額	18,707	18,438	17,801	17,328	18,567	-		
		執行率	104.7%	105.8%	106.7%	104.2%	110.9%	-		
上記以外の職員	千円	予算額	0	3,628	3,675	3,678	0	4,643		
		実績額	0	3,675	3,678	0	4,643	-		
		執行率	-	101.3%	100.1%	0.0%	-	-		
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	188,044	163,303	170,648	172,250	184,051	176,026		
		実績額	168,796	157,275	153,253	156,487	167,594	-		
		執行率	89.8%	96.3%	89.8%	90.8%	91.1%	-		
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0		
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	0		
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	0		
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0		
		実績額	0	0	0	0	0	0		
		執行率	-	-	-	-	-	-		
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	188,044	163,303	170,648	172,250	184,051	176,026		
		実績額	168,796	157,275	153,253	156,487	167,594	-		
		執行率	89.8%	96.3%	89.8%	90.8%	91.1%	-		



## 特記事項

○令和7年度への繰越事業費  
自動車購入に伴う費用 10,802千円

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	府有車運行管理業務委託	9	人	70,584
	車両の賃借（新規購入の低公害車を除く）	72	台	45,720
	低公害車の導入	8	台	1,042
	電気自動車充電用コンセント設置（区立施設）	5	口	600
	その他（ 保険料、点検整備・修理、燃料費、自動車重量税ほか )			26,438

取組成果	経年劣化が進んだ車両8台と原動機付自転車3台に替えて、低公害車8台（HV車2台、電気自動車6台）と電動アシスト自転車16台を新たに導入したほか、電気自動車の充電環境を整備するため、高円寺保健センター等の区立施設4所に充電用コンセントを5口追加設置し、温室効果ガスの排出量削減に向けた取組を推進しました。職員を対象に府有車運転登録講習会や安全運転講習などを実施するとともに、自転車安全運転講習会では車道走行時の注意点や自転車用ヘルメットの効果等を周知し、府有車等による交通事故の発生抑制に努めました。
------	---

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	令和7年度は電気自動車を6台、ハイブリッド車を5台導入する予定です。これにより、電気自動車は合計16台となり、高円寺保健センター等の区立施設4所にも配備されます。また、運転登録講習会や緊急自動車運転講習、自転車安全運転講習を行い、過去の事故事例を踏まえて運転時の注意点を共有し、府有車の安全運転に向けた取組を進めました。
事業の方向性・改善策	府有車の更新に際しては、電気自動車や低公害車の導入を進めるとともに、電動アシスト自転車を活用することで、車両利用の一部を自転車へと転換し、温室効果ガスの排出削減と環境負荷の軽減に取り組んでいきます。こうした取組を着実に進めため、車両の維持管理や点検整備についても、計画的かつ適切に実施し、運用の安全性と効率性の向上を図っていきます。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	更新時期を迎える府有車については、CO <sub>2</sub> 排出量の少ない電気自動車など環境性能に優れた車両への切替を進めています。また、電動アシスト自転車の配備を拡充することで、クルマから自転車への移行を促進し、さらなる排出削減と持続可能な移動手段の確保を図ります。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	府有車の使用年数や電気自動車の普及状況、電動アシスト自転車の導入による利用実績の変化などを踏まえ、車両の更新時期や台数の適正化を計画的に進め、環境負荷の低減に努めています。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	区施設の保全管理					款 02	項 01	目 05	事業 006	整理番号	025	
現担当課名	営繕課					係名	施設保全係		連絡先	1569	昨年度 整理番号	026
上位施策No・施策名	09	質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進					予算事業区分		既定事業			
事業開始	平成7年度	実行計画事業	分野	03	施策	09	計画事業	04				
令和6年度 担当課名	営繕課					事業評価区分		その他簡易な評価				

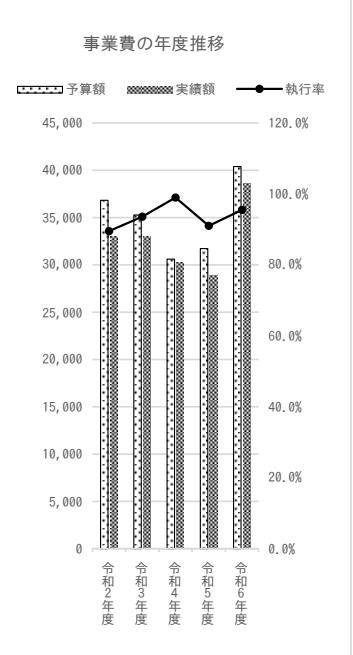
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区有施設	杉並区工事施行規程 杉並区施設計画保全実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○施設を良好かつ効率的に維持し、経済性及び耐久性の確保を図るため、適切な保全管理に向けた調査・検討及び施設所管課への技術的支援を行う。 ○温室効果ガスの排出量を削減する取組として、施設のZEB化を計画的・効率的に推進するため、ZEB化方針基準の策定に向けた調査・研究を行う。	○既存施設の改修・改良工事について、優先順位や緊急性、有効性等を判定して計画化するとともに、各施設の保全データの作成・管理及び適切な維持管理に向けた調査等を行う。 ○既存施設のZEB化に必要な改修内容や工事費、エネルギー消費量、二酸化炭素削減効果等の調査・研究を行う。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
					実績	-	-	-
					達成率	-	-	-
成果指標				計画	実績	-	-	-
					達成率	-	-	-
	分類				計画	-	-	-
分類				実績	達成率	-	-	-
					計画	-	-	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	36,826	35,269	30,608	31,722	40,392	73,734
		実績額	32,962	33,007	30,294	28,868	38,576	-
		執行率	89.5%	93.6%	99.0%	91.0%	95.5%	-
人件費	千円	予算額	176,832	193,887	173,386	182,298	189,790	179,629
		実績額	195,636	197,768	185,826	200,571	203,842	-
		執行率	110.6%	102.0%	107.2%	110.0%	107.4%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	920	952	1,161
		実績額	0	0	0	952	1,161	-
		執行率	-	-	-	103.5%	122.0%	-
(事業費+人件費)	千円	予算額	213,658	229,156	203,994	214,940	231,134	254,524
		実績額	228,598	230,775	216,120	230,391	243,579	-
		執行率	107.0%	100.7%	105.9%	107.2%	105.4%	-
財源	千円	受益者負担分①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの補助金②	0	0	0	0	0	0
		その他の補助金等③	0	0	0	0	0	-
特定財源	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源(総事業費-特定財源)	千円	予算額	213,658	229,156	203,994	214,940	231,134	254,524
		実績額	228,598	230,775	216,120	230,391	243,579	-
		執行率	107.0%	100.7%	105.9%	107.2%	105.4%	-



## 特記事項

既存区立施設ZEB化方針基準策定業務委託について令和7年度までを債務負担として設定しており、21,000千円を限度額としております。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	杉並区有建築物等定期点検業務委託			22,716
	杉並区既存区立施設ZEB化方針基準策定業務委託			7,500
	營繕積算システムRIBC2の賃貸借			2,218
	杉並区有施設低圧コンデンサー調査業務委託			1,485
	その他（特定化学物質調査委託ほか）	)		4,657

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	<p>施設を良好かつ効率的に維持し、経済性や耐久性を確保するため、改修・改良工事の修繕実施計画を作成しています。この計画には、施設の主要部位（屋根・外壁、受変電設備、空調設備、昇降機設備）の中長期修繕計画も含みます。計画の作成にあたっては、施設の劣化状況等を数値化し、工事の優先度を判定することで客観性や公平性等の確保を図っています。</p> <p>施設維持管理実施報告書により各施設の保全の状況を確認し、必要に応じて各所管課へ対し技術的助言を行っています。</p> <p>施設のZEB化を計画的・効率的に進めるため、モデル施設のエネルギー消費量、ZEB化に必要な改修内容や工事費の調査・研究を行っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>施設改修費を平準化するため、中長期修繕計画を隨時見直し、着実な工事の実施を図る必要があります。</p> <p>省エネに寄与する照明設備のLED化と共に、区立小中学校のトイレ洋便化の改修工事を、着実に実施できるよう計画を隨時見直していきます。</p> <p>令和8年度の区立施設ZEB化方針基準の策定に向け、具体的なZEB導入手法の盛り込んだ基準案の作成を進めています。</p>

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	施設に必要な機能・性能を確保していくためには、建築物等定期点検や改修・改良工事の修繕実施計画の作成を、引き続き行います。また、区立施設のZEB化を計画的・効率的に推進するため、区立施設ZEB化方針基準の策定に向けた調査・研究を引き続き行います。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	建築物等定期点検や改修・改良工事の修繕実施計画の作成は、施設の機能・性能を確保していくために効果的な方法であるため、今後も同規模で実施していきます。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	杉並産エネルギーの創出と省エネルギーの推進						款 06	項 01	目 01	事業 003	整理番号	414
現担当課名	環境課						係名	温暖化対策係			連絡先	3732
上位施策No・施策名	09	質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進						電話番号	昨年度 整理番号			423
事業開始	平成15年度	実行計画事業		分野	03	施策	09	計画事業	02	01	05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）
令和6年度 担当課名	環境課						事業評価区分	既定事業				

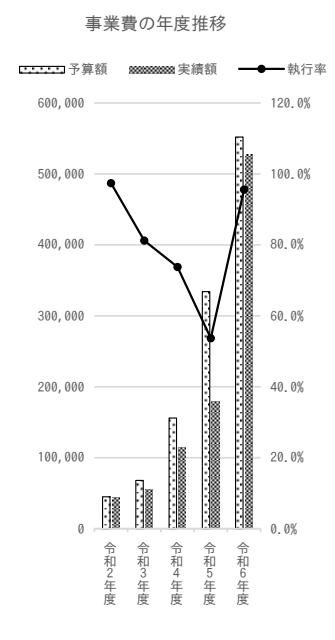
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法） 杉並区環境基本計画、杉並区地球温暖化対策実行計画
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○温室効果ガスの削減</li> <li>○環境意識の啓発</li> <li>○再生可能エネルギーの導入及び省エネルギー対策の促進</li> <li>○まちの省エネ化</li> <li>○環境に優しく、災害に強いまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギー等の導入助成及び断熱改修等省エネルギー対策助成を行い、温室効果ガス排出量の削減を図る。</li> <li>○電気自動車用充電設備の導入やLED照明機器切替の助成を行う。</li> <li>○杉並区地球温暖化対策実行計画に基づき、区域における気候変動対策を推進する。</li> <li>○気候変動対策に関する区民の理解と協力、自主的な参加を促す普及啓発を図る。</li> </ul>

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	再生可能エネルギー等の導入助成件数	資源エネルギー庁「固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備認定・導入量」	件	計画	404	404	800	1,620
	断熱改修等省エネルギー対策助成件数			実績	325	773	1,205	-
	達成率			達成率	80.4%	191.3%	150.6%	-
成果指標	区内の太陽光発電導入容量	資源エネルギー庁「固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備認定・導入量」	万kW	計画	480	480	780	1,180
	分類   社会成果（課題）指標			実績	680	569	794	-
	区内の温室効果ガス排出量			達成率	141.7%	118.5%	101.8%	-
分類   社会成果（課題）指標	予算額	実績値は、集計の関係上、最新の数値である前々年度数値を使用しています。	千t-CO <sub>2</sub> eq	計画	2.55	2.7	4.03	4.56
	実績額			実績	2.63	2.94	3.48	-
	達成率			達成率	103.1%	108.9%	86.4%	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	44,931	68,056	155,986	334,117	552,018	284,778
		実績額	43,761	55,264	115,063	179,390	527,544	-
		執行率	97.4%	81.2%	73.8%	53.7%	95.6%	-
人件費	千円	予算額	12,205	12,159	37,544	76,690	86,084	82,138
		実績額	12,840	13,349	48,175	83,677	92,431	-
		執行率	105.2%	109.8%	128.3%	109.1%	107.4%	-
上記以外の職員	千円	予算額	2,926	3,628	3,675	7,356	11,421	9,750
		実績額	3,447	3,675	5,186	12,182	11,747	-
		執行率	117.8%	101.3%	141.1%	165.6%	102.9%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	60,062	83,843	197,205	418,163	649,523	376,666
		実績額	60,048	72,288	168,424	275,249	631,722	-
		執行率	100.0%	86.2%	85.4%	65.8%	97.3%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	1,231	1,118	2,003	10,991	119	17,636
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	1,231	1,118	2,003	10,991	119	17,636
		実績額	1,060	1,778	5,227	36,491	27,446	-
		執行率	86.1%	159.0%	261.0%	332.0%	23063.9%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	58,831	82,725	195,202	407,172	649,404	359,030
		実績額	58,988	70,510	163,197	238,758	604,276	-
		執行率	100.3%	85.2%	83.6%	58.6%	93.1%	-



## 特記事項

活動指標を（1）杉並区再生可能エネルギー等の導入助成及び断熱改修等省エネルギー対策助成件数、（2）電気自動車用充電設備設置助成件数から、（1）再生可能エネルギー等の導入助成件数、（2）断熱改修等省エネルギー対策助成件数へ変更しました。  
 成果指標（2）を「区内年間二酸化炭素排出量」から「区内の温室効果ガス排出量」へ変更しました。なお、区内の温室効果ガス排出量は計画（目標値）よりも実績が低い場合に、より成果があつたと評価できる指標です。  
 令和6年度事業費は、省エネ家電買換促進助成事業の前年度からの繰越額（144,824,000円）や、再生可能エネルギー等の導入助成及び断熱改修等省エネルギー対策助成金の予算増（67,792,000円の増）等により増加しています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	再生可能エネルギー等の導入助成	1,205	件	120,036
	断熱改修等省エネルギー対策助成	794	件	62,233
	LED照明機器切替助成	109	件	25,240
	省エネ家電買換促進助成	7,704	件	255,257
	その他（電気自動車用充電設備導入助成、すぎなみエコチャレンジ事業等）	64,778		
取組成果	<p>再エネ・省エネの各種助成において、当初計画を上回る助成を実施しました。また、国の交付金を活用した省エネ家電買換促進助成を実施し、省エネ家電への買換えにより年間約659t-CO<sub>2</sub>を削減しました。</p> <p>ゼロカーボンシティ機運醸成事業では、科学体験施設「IMAGINUS」との連携による体験型企画展やワークショップを実施したほか、若い世代が参加する杉並エコマップ作りフィールドワークを実施しました。</p> <p>また、全6回の気候区民会議を開催し、気候変動対策に関する意見提案が会議から区へ提出されました。その対応については、気候危機対策推進本部で議論を行い、シンポジウム等を通じて広く区民へ公表しました。</p>			

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>再エネ・省エネの各種助成金について、一部メニューを除き事前の申請が必要でしたが、申請者の利便性向上のため、令和7年度からはすべての助成金において完了後の申請のみに変更したこと、申請手続の簡略化を図るとともに、年間の工事完了分を切れ目なく助成の対象としました。</p> <p>気候区民会議から提出された意見提案への区の対応として、エコマップ作りフィールドワークの継続や新たにユースを対象としたワークショップを実施するほか、事業化等に向けた検討を引き続き気候危機対策推進本部において行います。</p> <p>区域の温室効果ガス削減目標である2030年度のカーボンハーフ達成には、直近の令和4年度実績からさらに723t-CO<sub>2</sub>eq（約46%）の削減が必要です。この目標を達成するには、CO<sub>2</sub>排出量の半分以上を占める家庭部門からの排出量を減らすことが重要です。これまで以上に、温室効果ガス排出削減に大きく寄与する取組の実施が必要なため、区施設における再エネ調達拡大の実績等を踏まえ、より効果的な取組の検討を進めていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	<p>区ホームページに再エネ・省エネの各種助成金の予算額に対する申込率を定期的に掲載し、申請状況を広く周知することで、問合せ件数の減少につなげました。また、申請件数が伸び悩んでいる助成メニュー（節水シャワーへッド）については、新たにチラシを作成し、区内家電店に掲示の協力を依頼をするなど周知の強化を図りました。</p> <p>青梅市内の森林で、小学生及びその保護者を対象とした体験型森林環境学習を定員を増やして実施し、14組28名が参加しました。</p> <p>気候区民会議の意見提案の対応として、中・高生世代のユース60人を対象に、一人ひとりが脱炭素社会に向けて主体性やリーダーシップを育む機会となるよう、気候変動対策を学び、議論するワークショップを実施しました。また、若年層を対象に実施する「杉並エコマップ作りフィールドワーク」について、内容の検討を進めるとともに参加者の募集を開始し、12月頃にエコマップを公開予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>再エネ・省エネの各種助成については、一部のメニューについて適正な規模や支給要件の見直しを検討します。また、区民・事業者の環境配慮行動への機運醸成を図る取組を引き続き実施するとともに、区の率先行動として、温室効果ガス排出量の削減に直接寄与する区施設への再エネ電力の調達を取組方針に基づき推進します。</p> <p>気候区民会議から提出された意見提案への区の対応について、事業化等に向けた検討の進行管理を行い、気候危機対策推進本部にて検討を進めていきます。</p>

## 令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	区の温室効果ガス排出量削減の進捗は十分とは言えず、さらに脱炭素の取組を進めていく必要があります。一方で、再エネ・省エネの助成額をはじめ事業コストは増加傾向にあります。そこで、今年度採択された環境省の脱炭素まちづくりアドバイザーの支援を受けながら各実施事業の見直しを行う中で、今後の事業コストについても検討を行っていきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	区内の温室効果ガス削減の進捗が十分でない現状を踏まえ、取組における課題や今後の方向性を整理するとともに、家庭部門における脱炭素化に効果的に寄与する施策について、民間企業や他自治体との連携による実施に向けた検討を行います。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	環境配慮行動の推進					款 06	項 01	目 01	事業 004	整理番号	415
現担当課名	環境課			係名	温暖化対策係			連絡先	3732	昨年度 整理番号	424
上位施策No・施策名	09	質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進					予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成13年度	実行計画事業	分野	03	施策	09	計画事業	03	05		
令和6年度 担当課名	環境課					事業評価区分	一般				

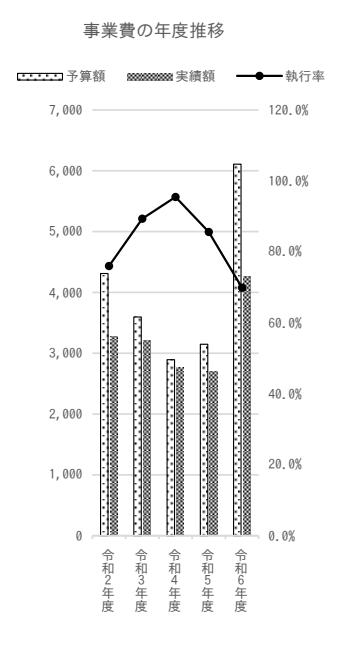
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 環境基本計画 杉並区環境配慮優良事業者認定制度実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○環境配慮行動を推進するため、区立小中学校に環境学習コーディネーターやサポートを派遣する。また、「小中学生環境サミット」を実施し、各校の環境に関する取組内容や環境問題への意識を共有する。 ○区と事業者が一体となった気候変動対策を推進する。
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	○小中学生が環境学習コーディネーター・サポート等による環境学習を行い、その取組内容を環境サミットで発表する。 ○環境に配慮した事業活動を行う区内事業者を「すぎなみエコ優良事業者」・「すぎなみエコ認定事業者」として認定し、広く周知する。

## 指標・総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	環境学習学校支援校	環境学習コーディネーター・サポートを派遣した学校数	校	計画	32	34	34	34
				実績	31	31	30	-
				達成率	96.9%	91.2%	88.2%	-
成果指標	すぎなみエコ事業者認定制度に関する説明会・イベントでの周知活動		回	計画	-	-	5	7
				実績	-	-	6	-
				達成率	-	-	120.0%	-
成果指標	環境学習の支援を受けた児童・生徒数	環境学習コーディネーター・サポートの支援により環境学習に取り組んだ児童・生徒数	人	計画	9,000	9,000	9,000	9,000
	分類 行政サービス成果指標			実績	7,898	8,797	7,718	-
	すぎなみエコ事業者認定件数			達成率	87.8%	97.7%	85.8%	-
成果指標	認定件数は令和6年度からの累計値		件	計画	-	-	10	25
	分類 行政サービス成果指標			実績	-	-	20	-
				達成率	-	-	200.0%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	4,311	3,596	2,894	3,148	6,109	4,877
		実績額	3,277	3,213	2,763	2,695	4,270	-
		執行率	76.0%	89.3%	95.5%	85.6%	69.9%	-
人件費	千円	予算額	11,072	10,799	14,183	22,953	9,583	5,134
		実績額	11,394	14,267	21,007	18,634	10,428	-
		執行率	102.9%	132.1%	148.1%	81.2%	108.8%	-
上記以外の職員	千円	予算額	2,926	3,628	3,675	4,414	1,523	929
		実績額	3,447	2,940	3,126	1,523	1,393	-
		執行率	117.8%	81.0%	85.1%	34.5%	91.5%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	18,309	18,023	20,752	30,515	17,215	10,940
		実績額	18,118	20,420	26,896	22,852	16,091	-
		執行率	99.0%	113.3%	129.6%	74.9%	93.5%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの補助金 ②	0	0	0	0	0	-
		その他の補助金等 ③	0	0	1,000	1,000	1,000	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	1,000	1,000	1,000	-
		実績額	0	0	1,000	1,000	1,000	-
		執行率	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	18,309	18,023	19,752	29,515	16,215	9,940
		実績額	18,118	20,420	25,896	21,852	15,091	-
		執行率	99.0%	113.3%	131.1%	74.0%	93.1%	-



## 特記事項

すぎなみエコ事業者認定制度の受付・審査事務については、当初委託化の予定でしたが、事業の見直しにより職員が対応したため委託費が未執行となり、執行率は69.9%にとどまりました。

令和5年度まで、事務事業「環境配慮行動の推進」に含まれていたマイバッック運動の推進及びレジ袋削減の推進については、令和6年度から新たな事務事業「ワンウェイプラスチック使用削減に向けた取組の推進」に移行しました。

小中学生環境サミットの活動指標と成果指標を見直しました。

令和6年度からの新規事業「すぎなみエコ事業者認定制度」について、活動指標と成果指標を定めました。

	内 容	規 模	単 位	事 業 費 (千円)
主な取組	環境学習支援の実施			4,086
	すぎなみエコ事業者の認定			184
	その他 ( )			0
取組成果	小中学生環境サミットでは、小中学校10校が取り組んだ各テーマについて、その取組内容や成果を発表し後日区役所ロビーでパネル展示を行うことで、広くその取組を周知しました。サミットの参加者からは「各校の取組を知ることができてよかったです」という感想が多く寄せられ、学習の成果を共有し深めることができました。また、サミット参加校以外の学校に対しても、環境学習コーディネーターやサポートーを派遣して各校の環境学習を支援することで、環境配慮行動の推進を図りました。 事業者による脱炭素社会の実現に向けた取組を推進するため、新たに環境に配慮した事業活動を行う区内事業者を認定する「すぎなみエコ事業者認定制度」を開始しました。認定により、施工能力等審査型総合評価方式での加点等がある旨を、事業者説明会や広報すぎなみ等で周知した結果、20事業者を認定するとともに、更なる普及に向けて認定事業者を紹介するパネル等を作成し、ロビー展等で普及・啓発に努めました。			

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	小中学生環境サミットについては、学校のカリキュラムの見直しや働き方改革の推進により、参加に躊躇する学校が増加傾向にあります。小中学校期の環境にまつわる貴重な体験の機会を失うことがないように、学校現場における負担の軽減に配慮しながらサミットへの参加を勧奨しつつ、環境学習コーディネーター等を学校に派遣する個別支援を推進していきます。 すぎなみエコ事業者認定制度については、制度開始間もないため認知度が十分ではないことから、広報活動を強化し認定事業者の増加に努めています。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	小中学生環境サミットについては、SDGsや善福寺川の水循環など、8校から6テーマの応募がありました。また、環境学習支援については、第一四半期の段階で、身近な植物や野鳥の観察会、ヤゴ救出作戦など小中学校を含む7校の支援を行いました。 すぎなみエコ事業者認定制度については、ロビー展示や広報誌のほか、区内事業者が集う機会に周知活動を行い、申請を検討している事業者の問い合わせがありました。
事業の方向性・改善策	小中学生環境サミットの参加について、昨年度に比べ応募数は減少したものの、新たなテーマに取り組む学校もあることから、引き続き環境学習コーディネーター等と連携し、丁寧なサポートが行えるよう取り組みます。また、サミットに参加しない学校に対し、環境学習の機会を失うことがないよう、引き続き環境学習コーディネーター等を派遣していきます。 すぎなみエコ事業者認定制度については、東京商工会議所杉並支部を通じて会員への周知を依頼するなど、広く認知度を上げ、PRに努めています。

## 令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	小中学生環境サミットについては、サミットへの参加を勧奨しつつ、環境学習コーディネーター等を学校に派遣する個別支援を推進していきます。 すぎなみエコ事業者認定制度の受付・審査事務については、事業開始当初は委託する予定でしたが、引き続き職員が対応します。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	次世代を担う子どもたちが環境問題について正しく理解し行動することができるよう、引き続き環境学習コーディネーターやサポートーを中心とした、環境学習支援を推進します。 事業者による脱炭素社会の実現に向けた取組を推進するため、すぎなみエコ事業者認定制度の広報活動をより強化して取り組みます。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	自然環境の保全					款 06	項 01	目 02	事業 003	整理番号	423
現担当課名	環境課					係名 溫暖化対策係	連絡先 3732	電話番号	昨年度 431	整理番号	
上位施策No・施策名	09	質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進					予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	分野 03	施策 09	計画事業 03						
令和6年度 担当課名	環境課					事業評価区分	一般				

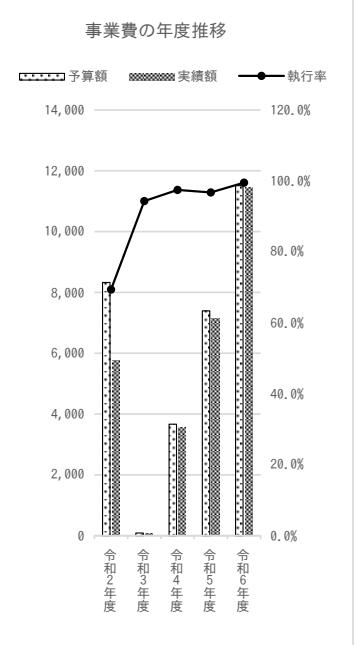
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 自然環境保全法 環境基本法
区民、環境団体	
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区民が生き物の名前や生息地を知ることにより自然を身近に感じ 環境保護の意識を高める。 ○動植物の生息状況を正確に把握し記録に留め、自然保護の指標とする。	○「自然環境調査報告書」及び「河川生物調査報告書」を概ね5年ごとに発行する。 ○広報誌「すぎなみの街と自然」を発行する。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	自然観察会参加人数				計画	125	144	144	144
				人	実績	98	122	113	-
					達成率	78.4%	84.7%	78.5%	-
成果指標	みどりや水（河川等）とふれあう環境 が良いと回答した区民の割合	区民意向調査において「みどりや水（河川等）とのふれあい」を「良い」、「まあ良い」とした割合		%	計画	-	-	-	-
	分類 区民満足度指標				実績	-	-	-	-
					達成率	-	-	-	-
	分類				計画	80	80	80	90
					実績	76	75	79	-
					達成率	95.0%	93.8%	98.8%	-
					計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成率	-	-	-	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費		千円	予算額	8,327	88	3,667	7,394	11,511	9,478
			実績額	5,777	83	3,574	7,154	11,455	-
			執行率	69.4%	94.3%	97.5%	96.8%	99.5%	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	8,980	8,503	8,343	10,644	4,186	4,278
			実績額	8,758	8,510	13,337	5,106	4,535	-
			執行率	97.5%	100.1%	159.9%	48.0%	108.3%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	464
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	17,307	8,591	12,010	18,038	15,697	14,220
			実績額	14,535	8,593	16,911	12,260	15,990	-
			執行率	84.0%	100.0%	140.8%	68.0%	101.9%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	0	4,691
			実績額	0	0	0	0	5,696	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
			実績額	0	0	0	0	-	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	4,691
			実績額	0	0	0	0	5,696	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円		予算額	17,307	8,591	12,010	18,038	15,697	9,529
			実績額	14,535	8,593	16,911	12,260	10,294	-
			執行率	84.0%	100.0%	140.8%	68.0%	65.6%	-



## 特記事項

令和6年度事業費は、第8次自然環境調査の報告書及び概要版を作成したため、委託費が増となりました。  
活動指標と成果指標を見直しました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	広報誌「すぎなみの街と自然」発行	1	回	62
	杉並区自然環境調査（第8次）報告書作成	150	部	196
	杉並区自然環境調査（第8次）報告書概要版作成	1,900	部	291
	自然環境調査の実施（植物、クモ類、昆虫類、鳥類） 55地点	55	地点	10,906
	その他 ( )			0

取組成果	令和4・5年度に区内の自然環境の実態把握を目的として実施した第8次杉並区自然環境調査について、報告書及び概要版を作成し、環境学習等の資料とするために、区立小中学校の各学級や区立図書館等へ提供するなど、広く周知を行いました。また、区内の植物や生き物を紹介する広報誌「すぎなみの街と自然」を発行し、区ホームページに掲載したほか、区立図書館や調査協力者等へ配布することで自然環境への理解促進に努めました。
------	---

## 課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k · A c t i o n )

課題の分析	自然環境・河川生物調査報告書は、区内の自然環境や動植物の理解を深める資料として作成しています。河川生物調査は昭和57年度から、自然環境調査は昭和60年度から概ね5年ごとに実施し、専門家からは、調査の継続性と精度が高く評価され、多くの学術論文の引用実績があります。今後も区の自然環境の変化を同水準で経年的に観測し、継続性を確保していく必要があります。併せて、より多くの区民が区内の自然や生き物に興味関心を持ち、環境への理解を促進する機会の創出が必要です。そのため令和7年度は、自然環境調査に実際に参加された学識経験者による報告会を開催し、区内の自然環境の実態を広く周知していきます。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	第九次河川生物調査報告書及び報告書概要版の発行に向けて現地調査等の準備を進めています。併せて、区内の自然環境を紹介する「すぎなみの街と自然」の発行準備も進めています。また、区内の自然環境について広く周知するため、第8次杉並区自然環境調査報告書の作成に携われた学識経験者による報告会を9月下旬に開催します。
事業の方向性・改善策	自然環境調査報告書及び河川生物調査報告書については、区内の自然環境や動植物への関心を深めるための資料として活用されています。特に自然環境調査報告書については、専門家からその継続性と精度が高く評価されており、引き続き区内の自然環境の実態を把握するため、継続的に調査を実施します。報告書は本編のほか、写真やグラフを豊富に掲載した概要版を作成し、区ホームページへの掲載のほか、区立小中学校全学級と図書館等区立施設での閲覧用に提供します。区民が区内の生き物の名前や生息地を知り、自然をより身近に感じることで、環境保護意識の更なる醸成につながるよう引き続き周知に努めていきます。

## 令和8年度の方針 (A c t i o n )

I . 事業コストの方向性	縮小
I . 事業コストの方向性の理由	自然環境調査及び河川生物調査は概ね5年に1回実施しており、令和8年度については実施の予定はありません。令和9年度から実施予定の自然環境調査（第9次）に向けて事前準備等を行うとともに、区内の自然環境を紹介する「すぎなみの街と自然」を発行します。
II . 事業の改善の方向性	現状維持
II . 事業の改善の方向性の理由	報告書の概要版や広報誌「すぎなみの街と自然」を活用し、より多くの区民が自然を身近に感じ、環境への理解を促進する機会の創出を検討していきます。

# 令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	環境活動推進センター等の事業運営					款 06	項 01	目 04	事業 003	整理番号	433
現担当課名	環境課					係名 溫暖化対策係	連絡先 3732	電話番号	昨年度 441	整理番号	
上位施策No・施策名	09	質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進					予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成16年度	実行計画事業	分野 03	施策 09	計画事業 03						
令和6年度 担当課名	環境課					事業評価区分	一般				

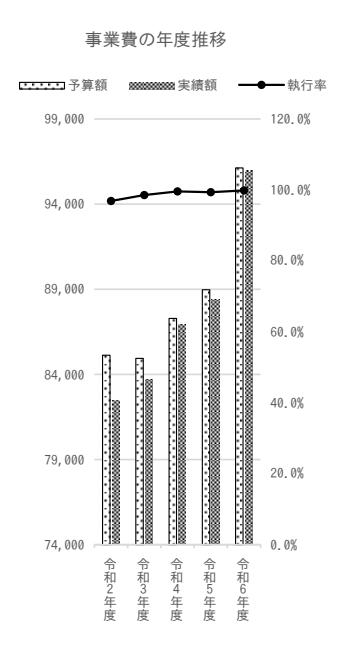
## 令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区立環境活動推進センター条例 杉並区立環境活動推進センター条例施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）  ○区民や環境団体、事業者等の環境配慮行動を推進する。 ○環境に関する講座等の開催や、情報提供・情報収集を通じ、環境配慮行動の推進に向けて普及啓発を行う。 ○環境団体の交流及び連携を推進する。 ○環境活動推進センターの維持管理を行う。

## 指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座・講演会等の参加者数		人	1,340	2,063	1,935	1,784				
	エコ路地フェスタの来場者数		人	1,896	1,910	1,768	-	141.5%	92.6%	91.4%	-
	環境に配慮した行動をしている人の割合	区民意向調査で環境に配慮をした行動をしていると回答した区民の割合（5設問の平均）	%	150	150	150	150	89	90.5	92	93.5
	分類 利用者満足度指標			122	126	232	-	81.3%	84.0%	154.7%	-
	分類			達成率	98.3%	93.1%	93.4%	-	-	-	-

	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
事業費	千円	85,128	84,941	87,288	88,971	96,125	99,809						
		82,475	83,712	86,921	88,397	95,986	-						
		96.9%	98.6%	99.6%	99.4%	99.9%	-						
人件費	常勤職員分(再任用含)	予算額	11,333	11,054	10,846	9,648	4,698	9,412					
		実績額	11,734	11,430	10,762	10,322	5,097	-					
		執行率	103.5%	103.4%	99.2%	107.0%	108.5%	-					
	上記以外の職員	予算額	308	0	735	2,942	1,523	1,393					
		実績額	363	735	2,060	1,523	1,393	-					
		執行率	117.9%	-	280.3%	51.8%	91.5%	-					
総事業費	(事業費+人件費)	予算額	96,769	95,995	98,869	101,561	102,346	110,614					
		実績額	94,572	95,877	99,743	100,242	102,476	-					
		執行率	97.7%	99.9%	100.9%	98.7%	100.1%	-					
財源	受益者負担分①	予算額	0	0	0	0	0	0					
		実績額	0	0	0	0	0	-					
		執行率	-	-	-	-	-	-					
	国・都からの補助金②	予算額	0	0	0	0	0	0					
		実績額	0	0	0	0	0	-					
		執行率	-	-	-	-	-	-					
	その他の補助金等③	予算額	0	0	0	0	0	0					
		実績額	0	0	0	0	0	-					
		執行率	-	-	-	-	-	-					
	特定財源①+②+③)	予算額	0	0	0	0	0	0					
		実績額	0	0	0	0	0	-					
		執行率	-	-	-	-	-	-					
差引：一般財源	(総事業費-特定財源)	予算額	96,769	95,995	98,869	101,561	102,346	110,614					
		実績額	94,572	95,877	99,743	100,242	102,476	-					
		執行率	97.7%	99.9%	100.9%	98.7%	100.1%	-					



特記事項
活動指標を見直しました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	環境活動推進センターの管理運営			42,859
	環境活動推進センターの建物管理			3,538
	リサイクルひろば高井戸の管理運営補助			4,905
	その他（ 建物賃借料等 )			44,684

取組成果	<p>環境活動推進センターでは、区民一人ひとりの環境配慮行動を推進するため、講座や講演会を開催しています。また、環境団体連絡会の開催や講座室等の貸し出しにより、環境団体同士の交流と連携を促進し、団体活動の活性化に取り組んでいます。</p> <p>令和6年度は約130回の講座や講演会を実施しました。また、環境団体が実行委員会を組織して実施している環境保全をテーマとした普及啓発イベント「エコ路地フェスタ」では、環境団体の取組を紹介するパネル展示や環境にまつわるワークショップを行い、環境保全に対する啓発を行いました。</p> <p>リサイクルひろば高井戸では、資源の有効活用を図り、区民から家庭で不用となった食器や衣料品等を取り扱い低価格で販売していますが、リビーターも多く好評を得ています。</p>
------	--

## 課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>講座・講演会等の参加者数が前年度に比べ減少しました。今後、環境活動推進センターを拠点にさらに環境配慮行動を推進していくためには、魅力ある講座・講演会を企画することが欠かせません。昨今のトレンドや区民ニーズを把握し、区民の意見を講座の企画に活かしていく必要があるため、参加者へのアンケート結果とともに検討していきます。また、講座等参加者の環境配慮に関する意識の変容をアンケートで聞き取り、行政評価における新たな指標としていくことを検討していきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	<p>自然観察会や川調べ、公園散策など屋外での講座が盛況でした。また、定員の10倍を超える応募があった簡易金縛りクラフト講座などをはじめ、屋内の講座についても多数の応募がありました。一方で、太陽熱給湯システムを学ぶ講座など一部応募人数が定員数の半分程度の講座もありました。</p> <p>環境団体については、新たに1団体の新規登録があったほか、杉並環境団体連絡会を開催し、団体相互の情報交換による関係強化に努めました。さらに、10月に開催予定の「エコ路地フェスタ」については、実行委員会を5回開催し、イベント当日に向け、企画内容について検討を重ねました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>アンケート結果から、参加者の満足度が高い講座や講演会については、引き続き参加者の意見を参考にしながら開催するよう努めます。一方で、応募者数が少ない講座については、講座の魅力が伝わるような広報等の周知に努めるほか、次年度に向けて講座内容の充実や改善に向けた検討を行います。</p> <p>さらに、今後、「エコ路地フェスタ」をはじめとした多くのイベントが開催される予定であることから、環境団体や環境活動推進センターの運営を受託するNPO法人と連携を密にし、円滑な運営を支援できるよう取り組みます。</p>

## 令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	一部の講座・講演会の参加者数減少の要因としては、内容や講師などの目新しさに欠けている点が挙げられます。講座内容を見直し、環境配慮の行動推進を軸に据えた魅力ある新たな講座・講演会の開催を検討していきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	参加者のアンケート結果を踏まえて、講座、講演会の内容を見直します。